

# 元気と魅力を力強く推進

—笑顔あふれるまちづくりへの好循環を加速化—

## 第6次総合計画後期基本計画の中間年

平成30年度は、人口構造の若返りを図り、持続性のあるまちにしていけるため、重点プロジェクトを戦略的かつ重点的に実施し、まちの魅力と活力の向上を図ります。

第3回市議会定例会で、児玉市長と島山教育長が発表した「施政方針」と「教育執行方針」から、本市が目指す方向性と今年度の取り組みをお伝えします。

### 活力や賑わいを生むまちづくり

#### 農林業の振興

新規就農希望者へのきめ細かな支援や個別経営体の法人化、農業農村支援機構を核とした経営サポート機能を拡充させ、意欲ある担い手づくりを進めます。また、農業構造改革ビジョンを推進し、社会情勢の変化に対応した足腰の強い農業経営への転換を図り、消費需要を見定めた作物の生産・販路の開拓や6次産業化など、経営の高度化にチャレンジする農業者を支援していきます。

米づくりの低コスト化や収益性の高い野菜や花きの作付を奨励し、新たな農産物のブランド育成などを支援して、複合経営が盛んな本市の特性を生かした、力強い農業の実現を図ります。「淡雪こまち」は、ブランド価値をさらに高められるよう、特別栽培米の作付を支援するとともに、「かづの北限の桃」は、作付面積の拡大に努め、果樹農家のサポート体制の強化に向けた新たな仕組みを構築します。「かづの牛」の飼養頭数は、



新ブランドとして期待される啓翁桜

目標の500頭台に達する見込みであり、自然で健康的な飼育方法や、優れた肉質などを広くPRしながら、さらなる需要拡大を図るとともに、乳牛および肉用牛の改良や、伝染病を防ぐ予防接種に対する支援などを継続します。

また、花輪大堰の水路及び頭首工の改修については、5カ年の県営事業として着手しており、来年度は本格的に工事に切り掛かる予定です。有害鳥獣駆除については、市民への迅速な情報提供や注意喚起に努めるほか、新たに鳥獣被害対策実施隊を編成し、機動的な駆除体制を構築しながら、被害の拡大を防止します。

農地の保全については、交付金を活用し、農村集落活動の活性化や農村環境の保全と機能向上に対する取り組みを支援します。

#### 商工業の振興

リノベーション支援や空き店舗に関する情報発信を強化するほか、商店街連携会議の充実を図るとともに、全国商店街支援センターのアドバイザー制度を活用しながら、商店街の賑わい創出を図ります。

また、事業の高度化や設備投資に対する支援を継続し、生産性の向上や受発注の拡大による地場企業の成長を促すとともに、域内取引や共同受注の拡大による「外貨」獲得を加速させていきます。

さらに、これまでの産業ブランドアップや地域内の連携体制を生かし、鹿角産品を総合的にプロデュースする「地域商社事業」をスタートさせるほか、企業誘致については、産業団地の立地メリットを最大限生かせる

### 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

#### 福祉の充実

地域福祉計画が最終年度を迎えることから、住みよい地域社会の実現のため、これまでの達成状況を検証しながら、次期計画を策定します。妊娠前から出産前後および子育て期に至るまで、一人ひとりの状況に応じた切れ目のない支援を行うため、福祉保健センターと子ども未来センターの連携を強化し、子育て世代包括支援体制を構築します。

ウェブサイトと連携した集中プロモーションや国際線機内誌への広告掲載などに取り組み、効果的なPRを展開します。旅行商品の造成支援を継続し、八幡平市と連携した旅行エージェント向けモニターツアーを実施するなど、タイや台湾からのさらなる誘客を図ります。地域間交流の推進については、葛飾区との包括的連携協定に基づき、多角的な交流機会を拡大するとともに、スポーツ合宿や大学などの調査研究に対する支援を継続し、地域活性化を図ります。鹿角ブランドの確立については、都市イメージ戦略に沿った歴史文化資源の活用や効果的なPRにより、市外への発信力を高めるとともに、映画「ダイヤモンドナイト」のロケ地としての話題性や魅力を生かした取り組みを展開します。

#### 保健・医療の充実

本市の健康宣言として「10年後、脳卒中で亡くなる方を8割減らす」ことを掲げ、健康寿命日本一を目指す県民運動と連動した取り組みを展開し、脳卒中リスクが高い方への個別指導などにより、重症化予防を強化します。このほか、婦人科検診やがん検診などに、インターネット予約システムを導入し、利便性と受診率の向上を図ります。

地域医療体制の充実については、4月から、かづの厚生病院に、精神科医2名と泌尿器科医1名が常勤医として派遣されることとなりました。一方、産婦人科については、大館市立総合病院への分娩取扱機能の集約化を受け、派遣医師の体制が見直されていることから、これらの課題に対応する地域医療推進員を新たに配置し、市独自の医師確保対策を講じます。

#### 観光の振興・地域間交流の推進

稼げる観光を実現するため、地域DMOを目指す株式会社かづの観光物産公社を中心とした観光地域づくりへの支援を強化するほか、その拠点となる「あんたらあ」の大規模改修を行い、2020年度のリニューアルオープンを目指します。

4月下旬にオープンする「湯の駅 おおゆ」の運営については、大湯地域が一体となった取り組みを積極的に支援し、「道の駅かづの」とともに、北と南それぞれの観光拠点として、十和田八幡平国立公園をはじめとする本市のさまざまな魅力を発信していきます。

また、新たにインスタグラムによる情報発信を取り入れ、大手旅行



映画「ダイヤモンドナイト」の記者会見

高年齢者福祉については、「第7期介護保険事業計画」において、「誰もが、自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができる地域づくり」を基本理念とし、地域のニーズに即した地域包括ケアシステムの構築を進めます。生活保護については、自立相談支援事業による就労や家計管理に関する相談・指導を継続し、生活困窮者の自立促進を図ります。



市長